

(1)神戸大学大学院国際文化学研究科主催(異文化研究交流センター共催)  
国際ワークショップ「政治・経済・社会の劇変と EU におけるアイデンティティ形成」

## プログラム

- 趣旨

近年、EU（欧州連合）を取り巻く国際環境には大きな変動があった。一つに、地中海の対岸での「アラブの春」とその余波での大量の難民の押し寄せである。ソーシャルメディア（SNS）を用いた社会動員を背景に突き進んだ「アラブの春」を受けて、EU としての移民政策や域内移動の自由についての見直しが迫られ、またノルウェーやフランスではイスラム原理主義者による深刻なテロ事件も起こった。もう一つはユーロ危機と欧州信用不安であり、これによりイタリア、スペイン、ギリシャ、さらにフランスでも政権交代が起こった。こうした EU 内外の大きな変動を受け、注目されるのが EU 各国はこれまで通り EU 自体を重視するのか、それともむしろナショナルな枠組みに閉じこもるのかということである。そして、こうしたプロセスのなかで、EU 市民のアイデンティティにはどのような変化が生じているのか。

そこで本ワークショップでは、①「アラブの春」が EU 市民のアイデンティティや政治意識にどのような変化をもたらしたか、②EU のあり方をめぐる議論や EU 内でのアイデンティティの変容や社会動員においてもソーシャルメディアの重みが増しているのではないか、③こうした EU におけるアイデンティティの変化が EU の対外関係（特に地中海関係、さらには日本との関係）にどのような影響を与えているかに注目し、EU の変動について考察する。

日時：2013 年 2 月 6 日（水） 14:00～17:30

場所：ブリュッセル自由大学(VUB)

使用言語：英語

- 司会・総括

坂井一成（神戸大学大学院国際文化学研究科准教授）

- パネリスト

《報告》

(1)Kolja Raube (ルーヴァン・カトリック大学講師 Katholieke Universiteit Leuven)

“From Crisis to Integration? – European Diversity and Identity, Transnationalism, and Institutional Change”

(2)齋藤剛（神戸大学大学院国際文化学研究科准教授）

“Political Change in North Africa and Its Influence on the EU”

(3)村尾元（神戸大学大学院国際文化学研究科准教授）

“Evaluating the City Characteristics through Geo-Tagged Tweets”

(4)Noemi Lanna (ナポリ東洋大学准教授 University of Naples “L'Orientale”)

“What crisis? Japan, EU and Political Change in Middle East and North Africa”

《コメント》

西田健志（神戸大学大学院国際文化学研究科講師）

松井真之介

（神戸大学大学院国際文化学研究科メディア文化研究センター学術推進研究員）

Dimitri Vanoverbeke（ルーヴァン・カトリック大学教授 Katholieke Universiteit Leuven）

岩本和子（神戸大学大学院国際文化学研究科教授）